

第 18 次いわき市水道事業経営審議会第 9 回議事録

1 日 時 令和 5 年 11 月 16 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

2 場 所 水道局 3 階 第 1 会議室

3 出席者

(1) 委員 (出席：9名)

今井滋、上遠野恭子、金田晴美、河合伸、鈴木俊彦、原田正光、古川広子、
星隆之、堀江一到

(欠席：5名)

石山伯夫、伊藤誠、草野充宏、熊田哲也、佐久間幸子

※50 音順・敬称略

(2) 事務局 山田管理者、則政局長、佐藤次長、横田次長、阿部総務課長、
佐野経営戦略課長、遠藤営業課長、深澤配水課長、緑川工務課長、
齋藤浄水課長、本村南部工事事務所長

○経営戦略課

齋藤主幹、鈴木補佐

[企画係] 内田係長、渡邊専門技術員、根本主査、三戸主事、國分主事

4 会議形式 非公開

5 傍聴者 0名

6 会議次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 議事

ア 第 9 回会議の公開・非公開について

イ 第 8 回審議会の議事録 (案) について

ウ 答申 (案) について

(4) その他

(5) 閉会

7 審議事項

(1) 第 9 回会議の公開・非公開について

事務局より、本日の審議内容は、答申案の審議になり取扱いに慎重を期すべき案件のため、会議内容の公開・非公開について判断いただくよう提案があり、審議会からは、本日の会議について非公開とする決定がされた。

(2) 第 8 回審議会の議事録 (案) について

資料 12、資料 13 修正資料「第 8 回経営審議会資料の修正について」に基づき説明を行った。

<審議要旨>

○ 事務局から、「資料 12」、「資料 13」については、今回提示した資料のとおり、『財務に関わ

る指標が悪化しています。』という表現にさせていただきたい。」と提案があり、了承された。

○ 第8回の議事録が了承された。

(3) 答申（案）について

資料14「審議会答申に向けてのこれまでの意見の確認について」、資料15「答申（案）」に基づき説明を行った。

ア 「1 いわき水みらいビジョン 2031 の概要について」

○ 委員から、資料15 2ページの221行、『事業環境が圧迫』という表現は、聞きなれない表現だがどのようなことを想定してこの表現としているのか。」との質問があり、事務局から、「この段落については、基本的には財政的な文脈であり、経営環境も含めた『事業環境』という言葉を用いている。表現については、分かりやすく修正したい。」との回答があった。

○ 委員から、資料15 3ページの251～253行の収益的収支の説明で、『純利益合計は25億6千万円となる見込みであるが、令和11年度からは欠損金が生じる』と記載されているが、10年間で純利益が25億6千万円もあり、欠損金といっても大したことはないのではと受けとめられてしまうのではないか。」との意見があり、事務局から、「10年間のトータルで見ると25億6千万円の純利益となっているが、重要な所は令和11年度から赤字が生じるという部分であるため、表現について修正したい。」との回答があった。

○ 委員から、「財政収支計画は、何年度から計画が始まっているのかが分からないため、修正した方が良い。」との意見があり、事務局から、「計画については、令和4年度から開始している。計画期間がわかる形に修正したい。」との回答があった。

イ 「2 いわき水みらいビジョン 2031 の取組状況について」

○ 委員から、資料15 14ページの292～294行『各指標の重要度や類似団体の水準を参考にしつつ、』の表現について、「審議会としては、類似団体と比較して、どの指標をより重要視して、施策を展開していくのが重要であると考えるので、いわき市として、どこを重要視し、優先するのかをしっかりと捉えて頂きたい。」との意見があり、表現については、案のとおり了承された。

○ 委員から、資料14 18ページの下から3段落目、『ビジョン策定にあたり取り込んだ経営効率化の取り組みについては』の部分で、『15の事業を位置付けている。』とあるが、資料15 31ページの表を見ると16事業が記載されている。事業数について確認したい。」との質問があり、事務局から、「No. 15の事業『水道施設のダウンサイジングの検討』については、『水道施設の適正化・効率化の取組』及び『水道施設の更新需要等経費節減の取組』の二つの取組に係ることから、事業名は二重に記載されているが、事業数としては15事業である。」との回答があった。

○ 委員から、資料14 18ページの下から2段落目について、令和4年度に経営効率化を実行し、その効果額が13億5千万円となったように受けとめられるが、経営効率化に向け取組を検討した結果、今後この通りに実行していくことによって、この効果額が期待できるという考えで良いか。」との質問があり、事務局から、「13億5千万円は、令和4

年度単年での削減額の実績である。」との回答があった。

- 委員から、「資料14」18ページの下から2行目で、『委託料の節減に向けた見直しを進めることなどを確認した。』とあるが、特定の費目だけにフォーカスを当て、委託料を削減しなさいと審議会から答申することになってしまうと思うが、表現上問題ないか。」との質問があり、事務局から、「水道局が今後取り組んでいく経営改善策の一つとして説明させていただいた部分について、審議会において確認したという表現に留めているので、ご理解いただきたい。」との回答があった。

ウ 「3 その他経営に関する諸課題等について」

- 委員から、「資料14」24ページの最後の段落で、『水道事業経営に関する情報について市民に分かりやすく情報発信することを望む』とあるが、この表現だと、経営に関する情報のみを分かりやすく情報発信することを望むと読めてしまうので、お客さまが必要とする情報を引き続き発信するといったフレーズを入れた方が良いのではないか。また、災害時に応急給水施設の使用可否の情報や、断水時に復旧見込の情報を提供することも考えられるため、そういったことを含めて表現した方が良いと考える。」との意見があり、事務局から、「この表現だけだと、市民の皆様が求めている情報を発信するようには読み取れないため、水道局が提供したい情報を発信するとともに、お客さまが必要とする情報についても分かりやすく情報発信するというように表現を見直したい。」との回答があった。

[まとめ]

- 会長から、次のとおり意見の総括案が示され、審議会として確認がなされた。

- ・ 資料15 2ページの221行の「事業環境が圧迫する」という表現について修正する。
- ・ 資料15 3ページの251～253行の収益的収支の表現について修正する。
- ・ 資料15 5ページの318行の「令和3年度」を「令和4年度」に修正する。
- ・ 資料15 9ページの455行の「水道事業経営に関する情報」の部分について、追記及び表現を修正する。

8 その他

- 事務局から、「答申案の修正にあたっては、会長と事務局の間で調整をしたうえで確定させていただき、確定したものを答申前に委員の皆様へ送付する形にさせていただきたい。」と提案があり、了承された。
- 答申について
 - ・ 日時 令和5年12月25日（月）午後1時00分から
 - ・ 出席者 原田会長、古川副会長

9 閉 会